

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13.14.36	職員の人材育成の視点は、利用者を主役として向き合っているのかを考え、行動出来る事が課題。	利用者の自立支援。	ミーティング、カンファレンス会議の場で、チーム全体で向上を目指す。	12ヶ月
2	3.20.29	身近な地域との交流を築いていきたい。	近隣の方や施設ボランティアに来ている方、以前の住まいの友人の方々などの交流をグループホーム単体でも取り組む。	グループホーム、憩の家の裏にそれぞれ畑を作り、そこを通る近隣の方々に挨拶や世間話をする機会を持ち、交流を目指す。又、収穫予定の果物、野菜などはボランティアの方、地域の方と共にグループホームで食事会を開く予定。	12ヶ月
3	37.38.55	利用者の安心安全を優先しがちである。	リスクも含めた上でのその人らしい生き方、生活習慣などを家族も含めてカンファレンスを行う。	リスクマネジメントの大切さを失わずに利用者の生き方に全員で向き合える機会をつくる。会議、カンファレンス等。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。